

洪水・土砂災害について、危険性のある場所を地図に示しています

洪水・土砂災害に備えて

- ❗ 洪水・土砂災害が発生するまでには時間があるので、自分で判断して行動する
- ❗ 長雨が続きたり、地震の後などには土砂災害の危険が高まるので特に注意する

災害に備えて

事前の対策で被害を軽減することができます

日頃からの避難経路の確認

避難場所までの経路を確認し、危険な場所がないか点検しておきましょう。



雨水ますや側溝の手入れ

スムーズに排水されるよう、普段からこまめにゴミや落ち葉を取りのぞきましょう。



正確な情報収集と自主避難

最新の気象情報・災害情報・避難情報に注意しましょう。周りの状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



土のう・水のうの用意

土のうで浸水の被害をある程度食い止めることができます。ビニール袋を二重にして作る簡易水のうでも有効です。



もしも逃げ遅れたら

自宅の2階以上もしくは、崖の反対側の部屋や近隣の頑丈で高い建物に避難しましょう。



アンダーパスに注意

周辺の地面よりも低いので、雨水が集中しやすく冠水するおそれがあります。



P11~40の「洪水・土砂災害マップ」には⚠️で表示しています



確認しよう

①家の場所を確認しよう

- ・あなたの住んでいる家に○印をつけよう
- ・家のまわりは浸水しますか？
- ・土砂災害や家屋倒壊の危険はありますか？

②避難場所と避難経路を確認しよう

- ・避難場所までの避難経路に赤線を引こう
- ・避難場所名を裏表紙に記入しよう

③歩いて確認しよう

実際に避難場所まで歩き、危険箇所や避難にかかる時間等を確認し、災害時をイメージしながら安全に避難ができるように準備をしよう。

④皆で共有しよう

家族で話し合おう。ハザードマップはわかりやすいところに保管し、災害時には携行しよう。

